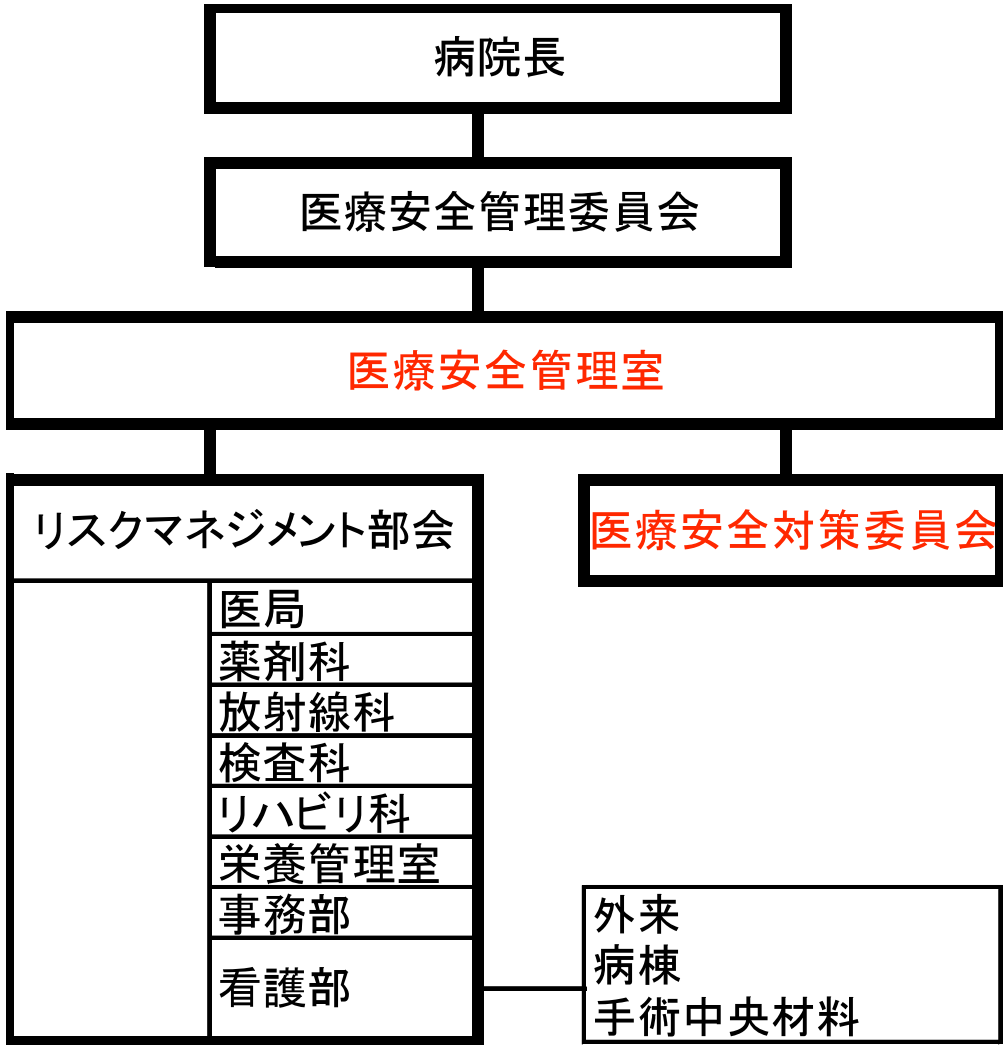
当院における医療安全への取り組みと今後の課題

栗原中央病院　医療安全室長
内田　　孝

2010. 5. 22

医療安全のための組織体制



内田孝　提供

2010. 5. 22

医療安全管理に関する委員会活動

① 医療安全管理委員会（月１回開催）

② 医療安全対策委員会（週１回開催、朝8時から）
　８人の病院スタッフで構成
　毎週、ヒヤリハットと医療事故の症例を検討し
　迅速に対策を講ずる

③ 医療安全カンファレンス（月１回開催、各部署で開催）
　かれ専任リスクマネージャーも参加）
　医局に対しては、医局会で1ヶ月のヒヤリハット
　報告から抜粋して提示し、改善策を伝える
　看護部門は独自に医療安全研修会を実施

2010. 5. 22

内田孝　提供

ヒヤリハット主な項目の比較

	20年度	21年度	全国平均
件数	645件	657件	―
注射・点滴	19%	16%	31%
投薬	13%	17．7%	13%
転倒・転落	12%	14%	16%
患者間違い	7%	5．4%	―

2010．5．22

内田孝　提供

当院の「患者誤認防止」対策のはじまり

H18．6に、院長が、全職員を集め、病院全体で医療安全に取り組むことを誓う「医療安全宣言」を行った。

その一環として、「患者誤認回避」のための具体的な対策、患者さん本人に名前を名乗っていただくことを病院として取り組むことが決定された。

2010．5．22

内田孝　提供

「患者誤認防止」対策取り組み内容（1）

- 患者確認（患者に名前と生年月日を言ってもらう）を医療安全マニュアルの各項目に明記する

- 患者確認の場面の設定：外来診察・処置時、手術、検査、点滴・注射、輸血、採血、IDカード受け渡しなど

- 患者と医療者の協同によるフルネームの確認の方法
  医療者はまず挨拶自己紹介をする
  「誤認防止のためにお名前をお願いします」と
  患者に問いかけ、それに答えて患者は、フルネームで名前と生年月日を伝える

2010. 5. 22

内田孝　提供

「患者誤認防止」対策取り組み内容（2）

- 全職員（常勤、非常勤、派遣、委託業者）への周知

- 患者・市民への周知：入院時ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、患者用ﾎﾟｽﾀｰの掲示（外来全診察室のﾄﾞｱ、外来受付ｶｳﾝﾀｰ、ﾅｰｽｽﾃｰｼｮﾝ等）、入院案内に氏名確認の趣旨説明、栗原市の広報誌への掲載等

- 活動の評価：聞き取り調査、アンケート調査
- 同姓同名患者を同じ病棟に入院させない

2010. 5. 22

内田孝　提供

内田孝　提供

2010. 5. 22

患者様のお名前の確認について

当院では、患者様を正しく確認させて　いただくために、ご本人または、ご家族にお名前を名乗って頂いております。

職員がお尋ねしましたら、お名前をお応えくださるようお願い申し上げます

栗原市立栗原中央病院　病院長

2010. 5. 22

内田孝　提供

患者様のお名前の確認について

≪私たちは患者様の　安全を守るために注射・採血・　点滴・輸血などの際、その都度お名前を名乗って頂き確認させて頂いております≫

栗原市立栗原中央病院　病院長

2010. 5. 22

内田孝　提供

患者様・ご家族、医療参加のための10の項目

医療は患者様のために行なわれます。
主役である患者様が医療に参加されることが重要です。

栗原市立栗原中央病院

項　　目	患者様・ご家族の方へ
‡ ⑭わからないことがありましたら・・・・・	・わからないことは主治医または看護師にお尋ねください。
‡ ⑮説明を聞きましたら・・・・・	・書類に署名していただくこともあります。
‡ ⑯他の病院を受診し意見を聞きたい時には・・・・・	・ご希望の病院がある場合は、医師や看護師にご相談ください。
‡ ⑰意思表示は明確にしましょう・・・	・輸血、宗教に関すること、病名の告知、ドナーカードの所持などについて、ご意思がはっきりしている場合は、お知らせください。
‡ ⑱患者様のお名前の確認をさせていただいております・・・・・	・ご本人であることを確認するために、お名前をお尋ねしますので、お答えください。 また、ネームバンドの使用のご協力お願いいたします。
‡ ⑲検査や治療については・・・・・	・わからないことがありましたら遠慮なく医師や看護師にお尋ねください。 ・以前に検査や治療でアレルギーなどがあった方は、必ず、どんなことでも結構ですのでお話ください。
‡ ⑳転倒や転落については・・・・・	・転倒や転落が予想される場合は、防止するための注意点を説明いたします。 ・履物は、つまづいたり滑ったりしない物をはきましょう。
‡ ㉑輸血をする時は・・・・・	・輸血の前後に不安や不明な点、体調不良がありましたら、すぐに医師や看護師に話しください。
‡ ㉒院内感染防止については・・・・・	・感染防止のため、ご家族も備え付けの消毒液による手指消毒や必要時マスクの着用などにご協力お願いいたします。
‡ ㉓医師や看護師に相談しにくい時は・・・・・	・1階受付（医事課）の『患者様相談窓口』にご相談ください。 ・医療福祉相談も行っております。

内田孝　提供

2010. 5. 22

2010. 5. 22 12

内田孝　提供

先生方へ　お願い

「　患者誤認防止のため」

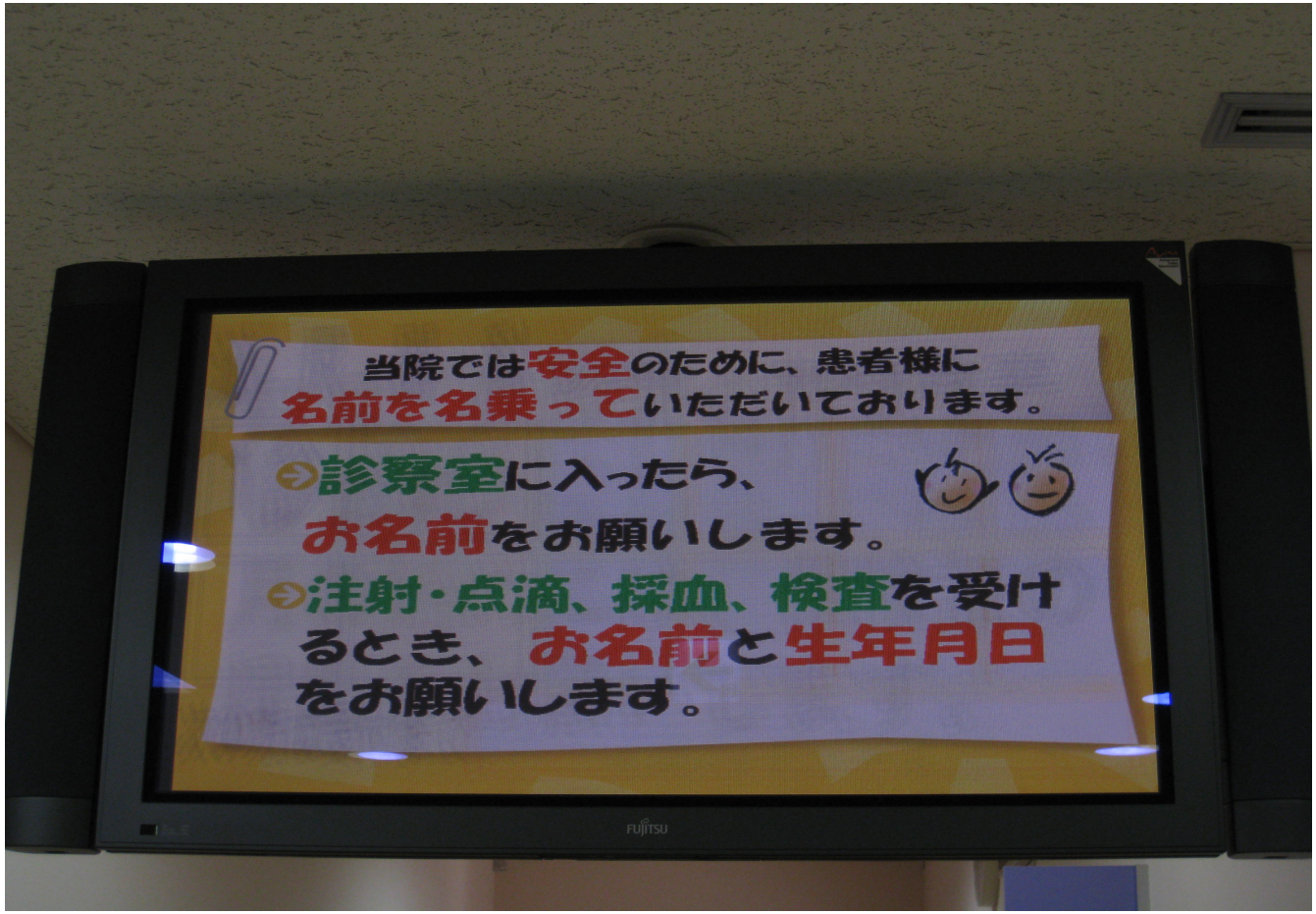
患者様が診察室に入ったら

患者様に名前を名乗ってもらい

生年月日をたずねてください。

栗原市立栗原中央病院　医療安全管理室

外来プラズマディスプレイへの掲示



2010. 5. 22

内田孝　提供

【©栗原中央病院　内田孝】

内田孝　提供

入院患者さんへの聞き取り調査

- 患者確認のために、医療関係者からフルネームの確認をされたかどうか、患者さんに聞き取り調査を実施した

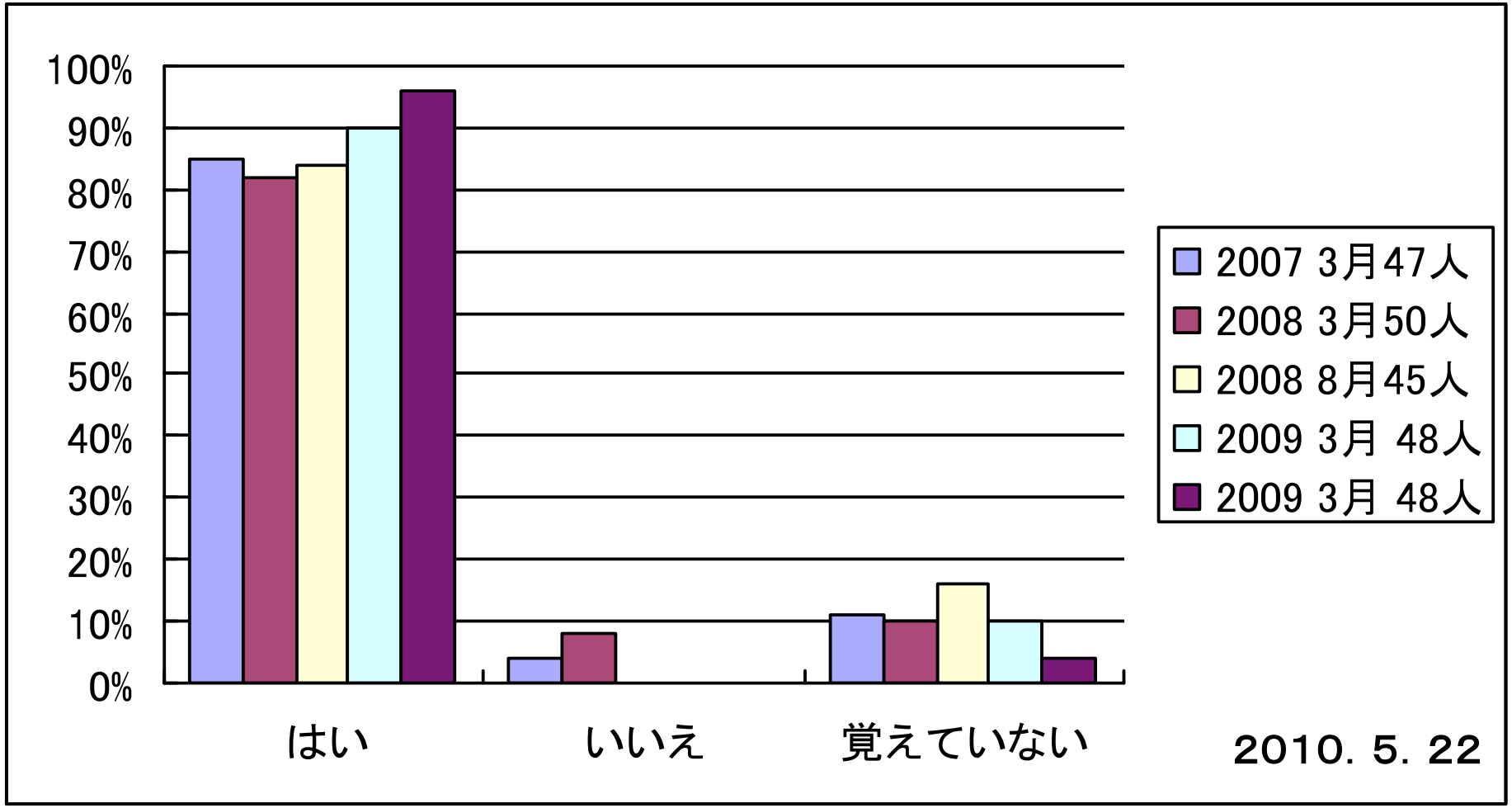
- 入院患者さんについて、2007年3月、2008年3月と8月、2009年3月、8月の5回実施

2010. 5. 22

内田孝　提供

入院時オリエンテーションで、看護師から注射・輸血・採血の際に、その都度お名前を名乗って頂くことの説明をうけましたか。

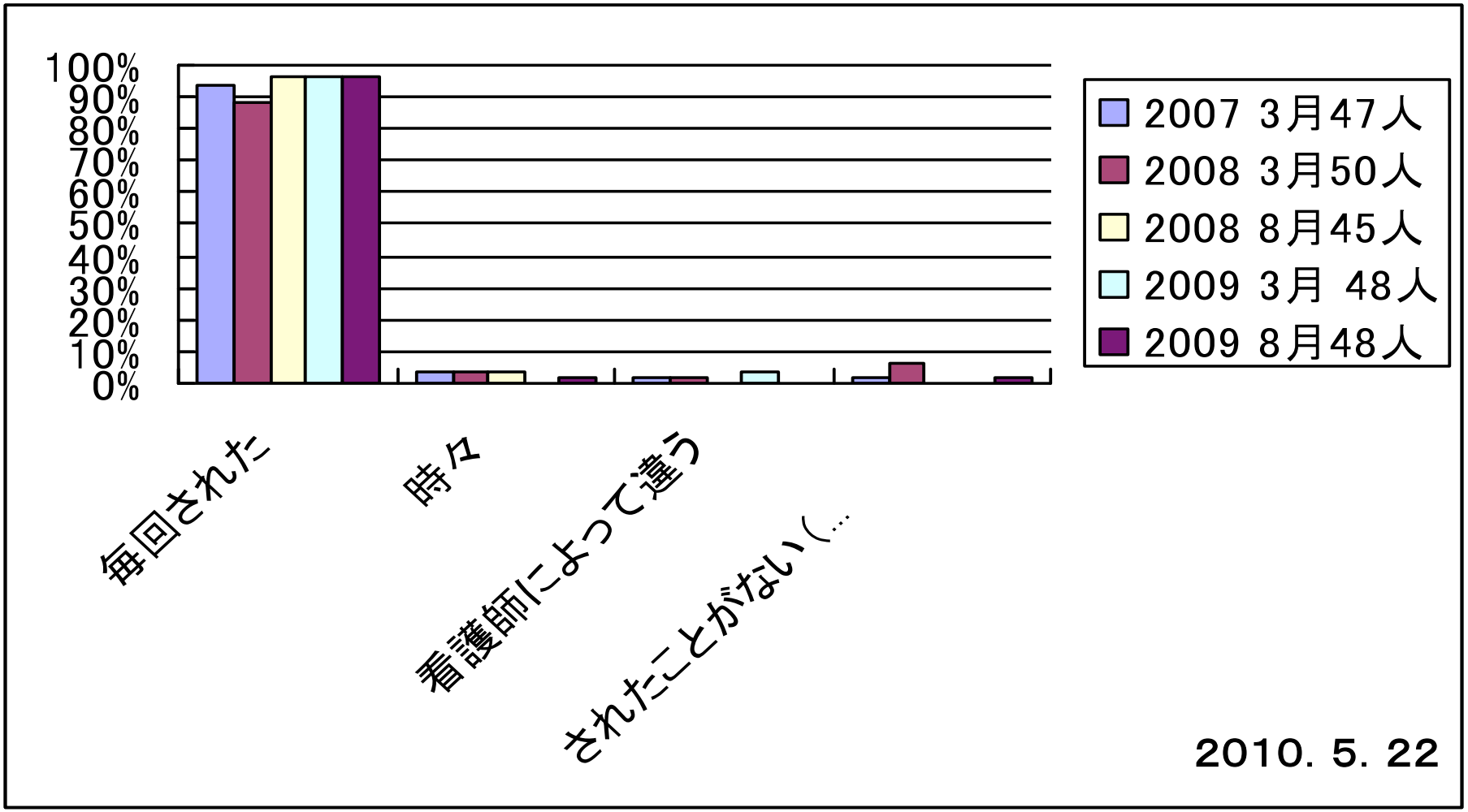
入院患者



内田孝　提供

注射・点滴実施時、または交換時に名前を確認されましたか

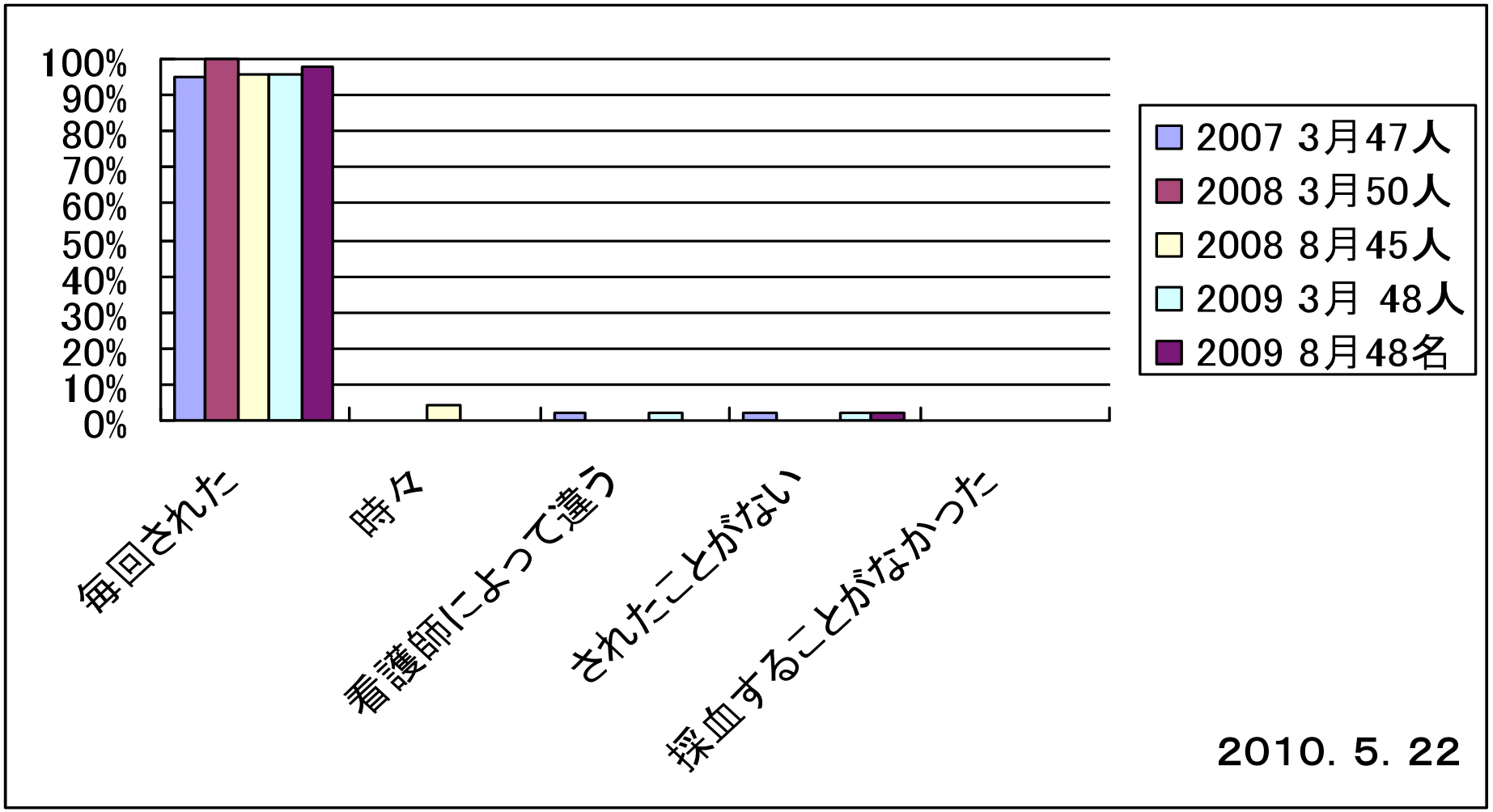
入院患者



内田孝　提供

採血実施時名前を確認されましたか

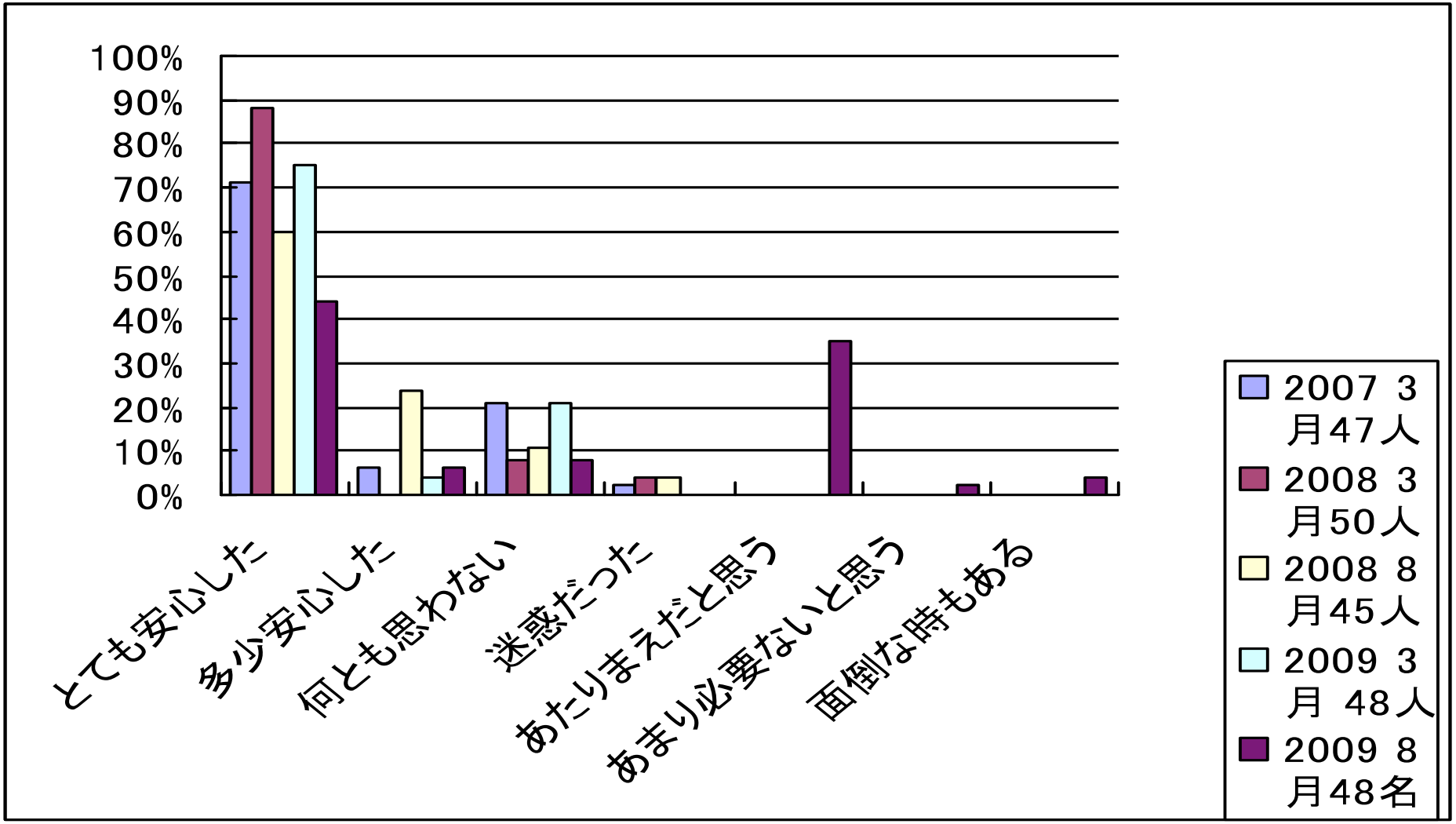
入院患者



内田孝　提供

毎回確認されることで

入院患者



内田孝　提供

外来患者さんへの聞き取り調査

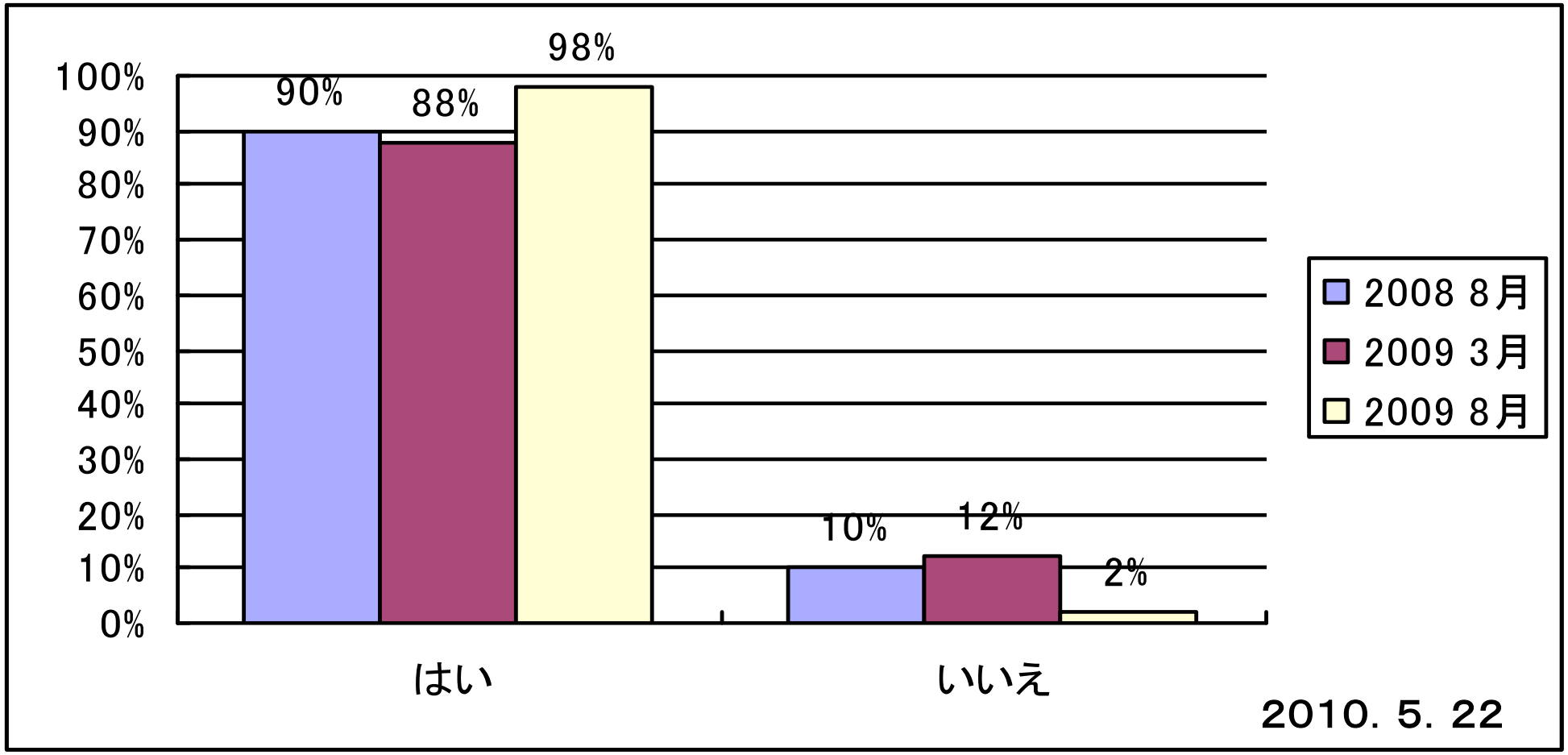
- 患者確認のために、医療関係者からフルネームの確認をされたかどうか、患者さんに聞き取り調査を実施した

- 外来患者さんについて、2008年8月、2009年3月と8月の3回実施

2010. 5. 22

当院では患者様を正しく確認させていただくためにご本人・家族のかたに名前を名乗っていただいておりますが、ﾎﾟｽﾀｰ掲示などでご存知でしたか？

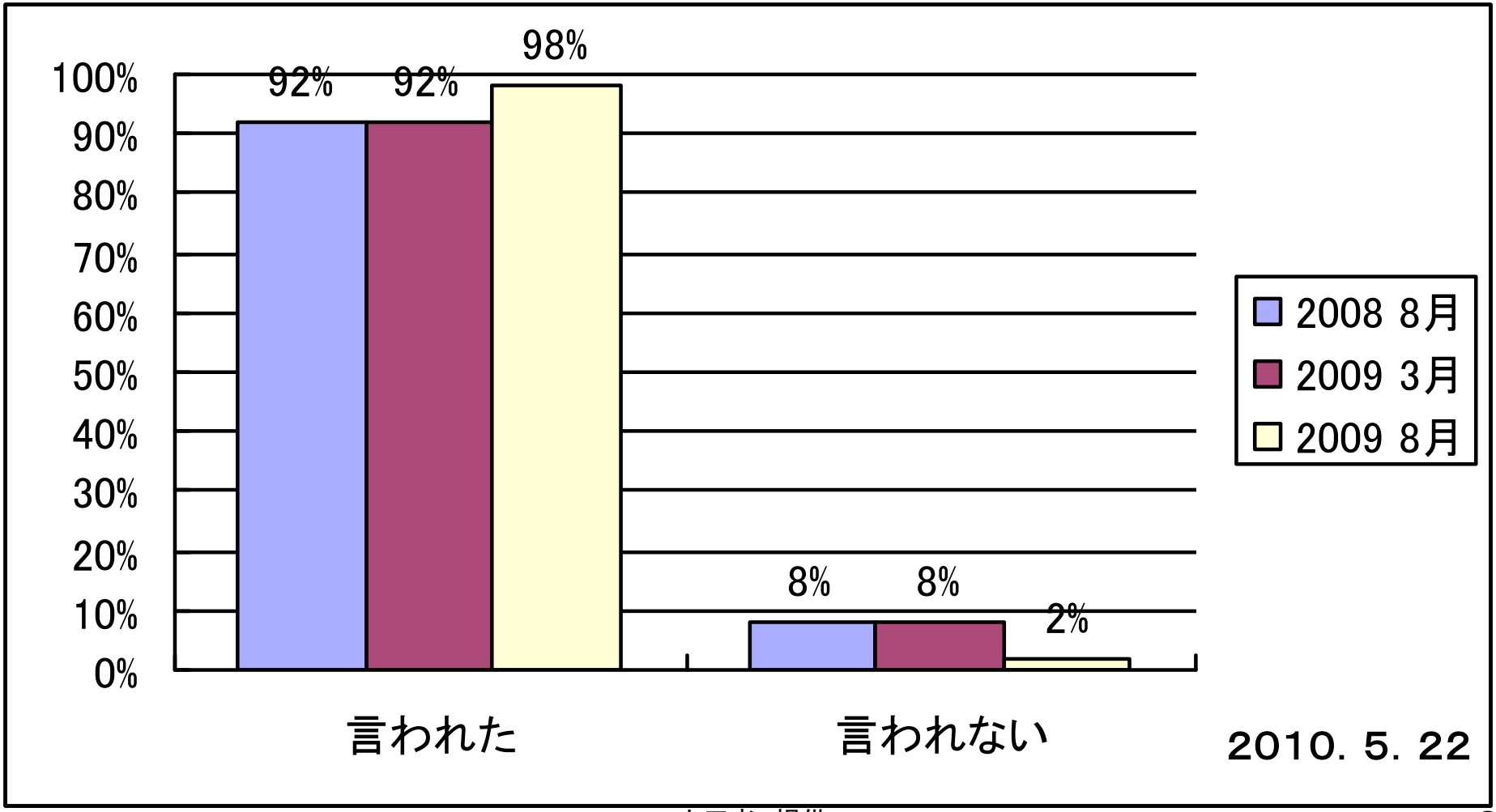
外来患者



内田孝　提供

本日診察する前に医師に名前を名乗るように言われましたか

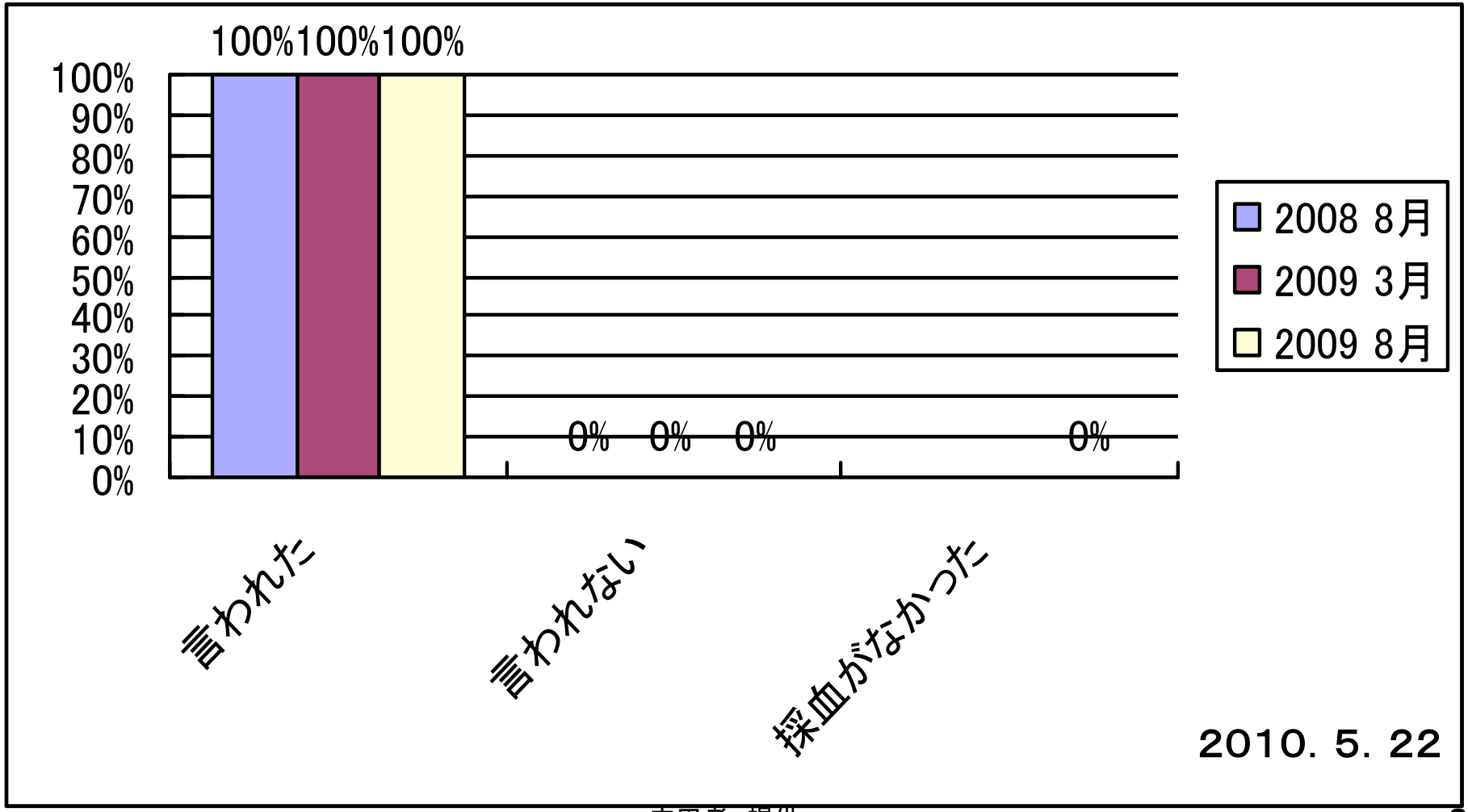
外来患者



内田孝　提供

本日採血実施時名前を名乗るよう言われましたか

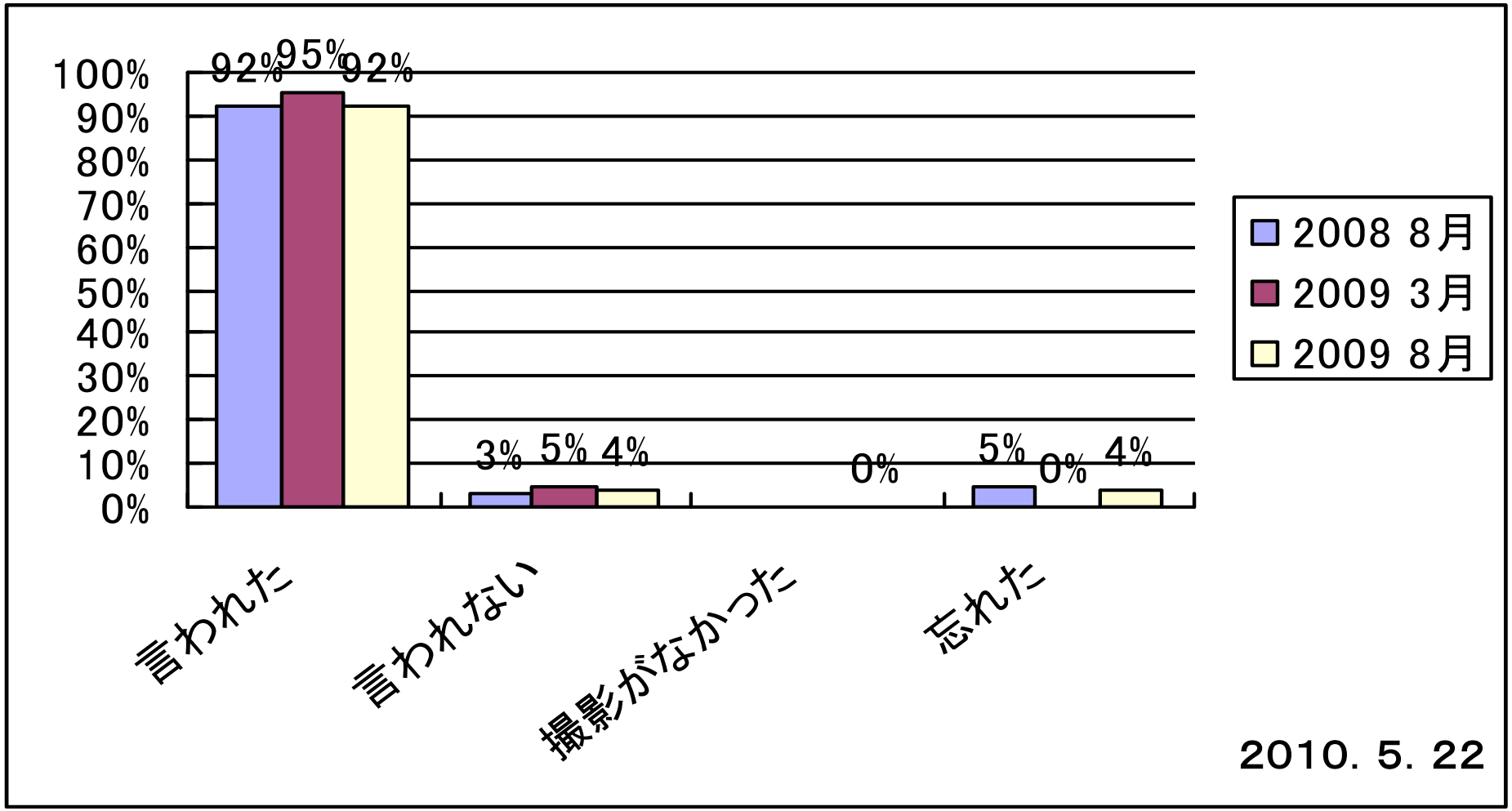
外来患者



内田孝　提供

本日放射線撮影時に名乗って頂くよう言われましたか

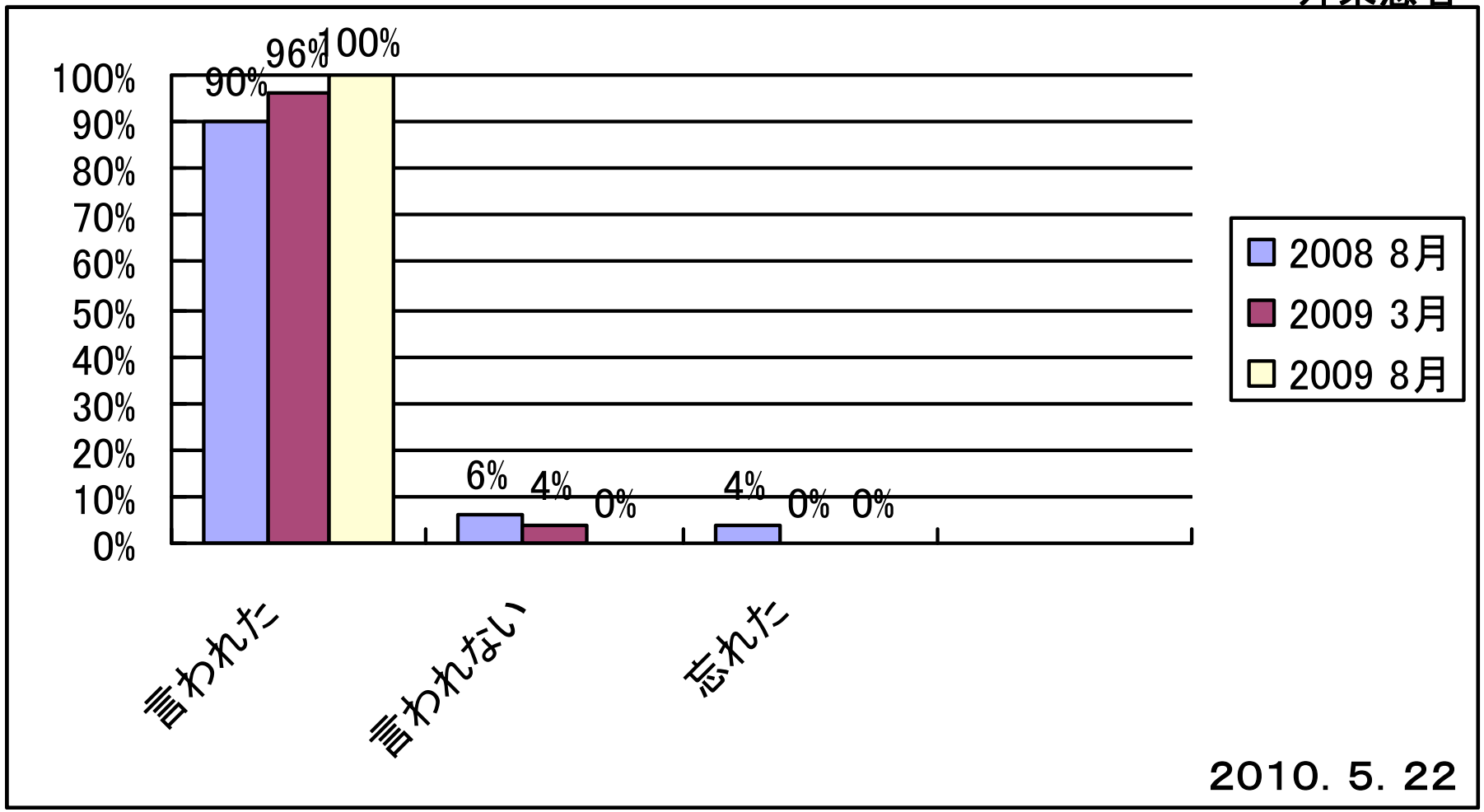
外来患者



内田孝　提供

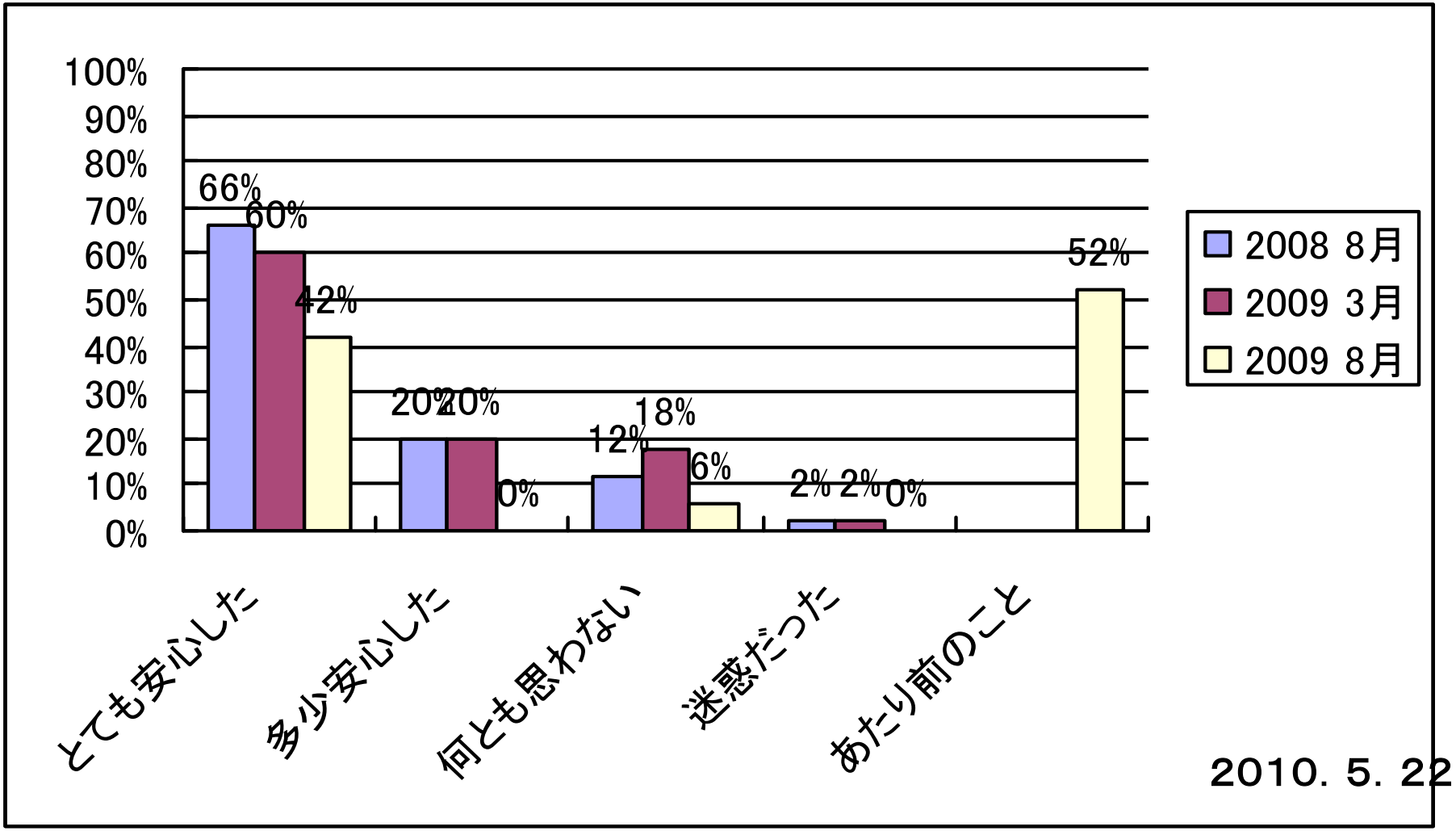
本日会計時に名乗って頂くよう言われましたか

外来患者



毎回確認されることで

外来患者



内田孝　提供

フリーコメント

- 何をするのも説明されるので安心
- 子供のことは特に親に確認されると安心する
- ドアに表示されているので聞かれる前に自分から言う
- 聞かれなかったが、自分から言った
- 昨日もきてわかっているから聞かれなかった
- 良いことだと思う

2010. 5. 22

患者誤認防止対策に対する、看護師へのアンケート

2010. 5. 22

内田孝　提供

看護師に対する調査項目

【場面】

・注射・点滴時・輸血実施前・点滴ボトル交換時・採血時・食事配膳時・検査の説明時・入院時のアナムネ聴取時

【行動】

①必ず名前を名乗ってもらう(●)
②名乗ってもらうが時々忘れる(●)
③時々は名乗ってもらっている(50%以下)(●)
④名乗ってもらうことはしていない(●)
⑤無回答(●)

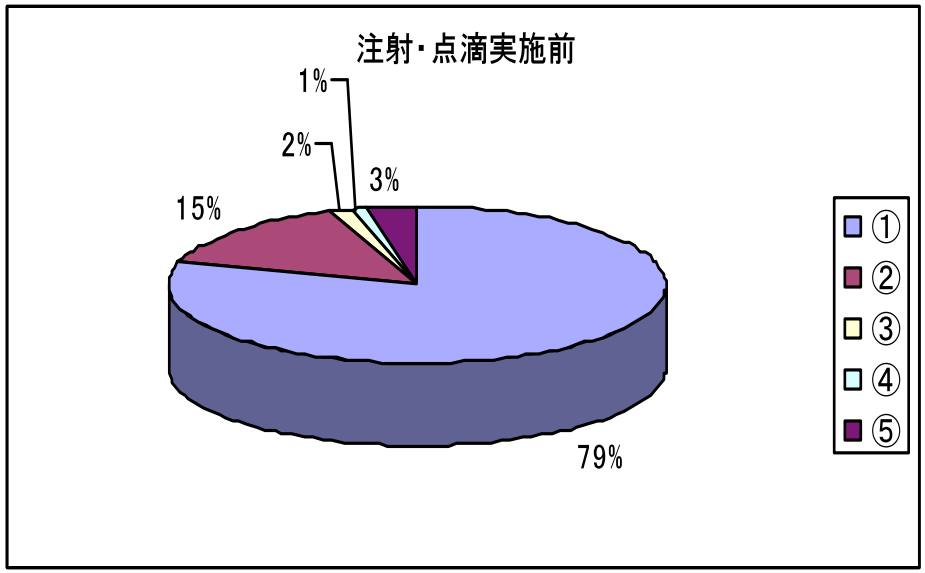
2010. 5. 22

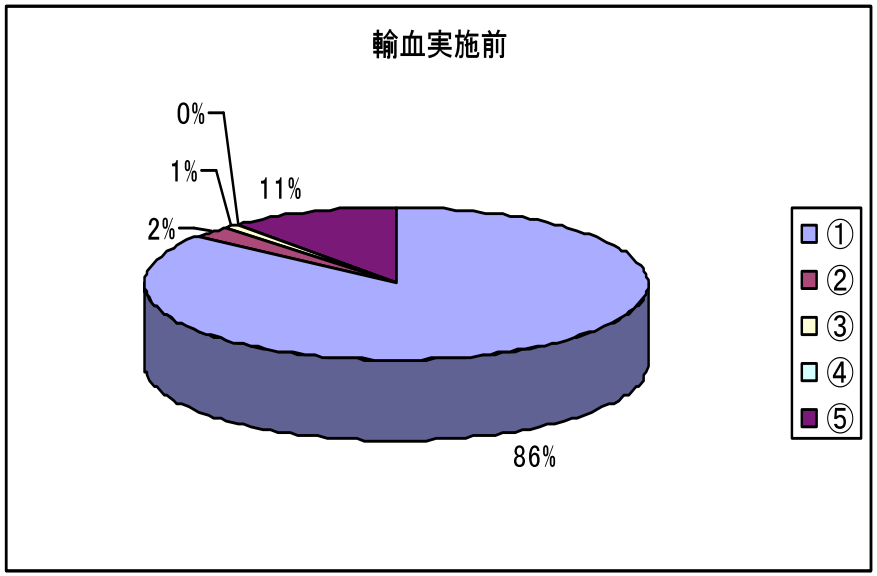
内田孝　提供

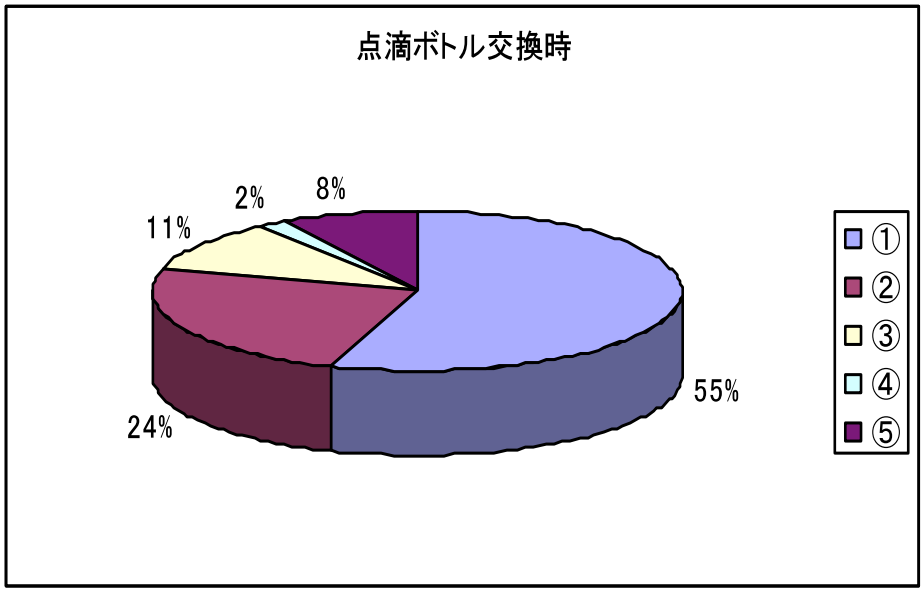
【©栗原中央病院　内田孝】

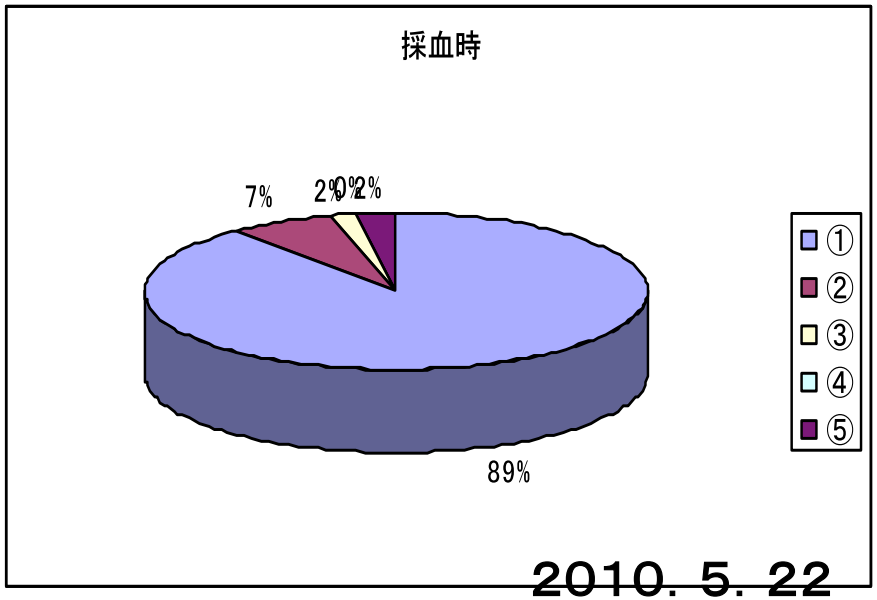
医療安全アンケート「名前を名乗ってもらう」の結果

看護師









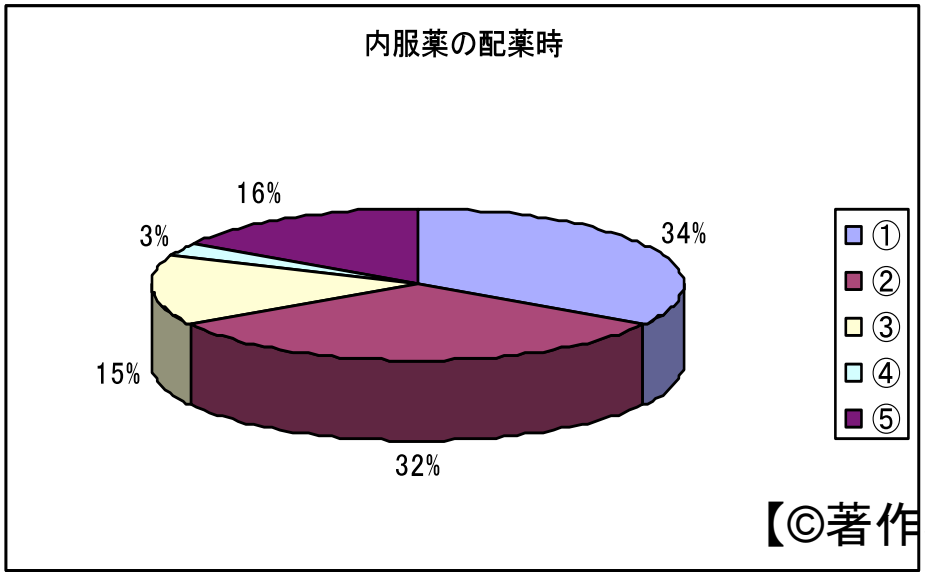
2010. 5. 22

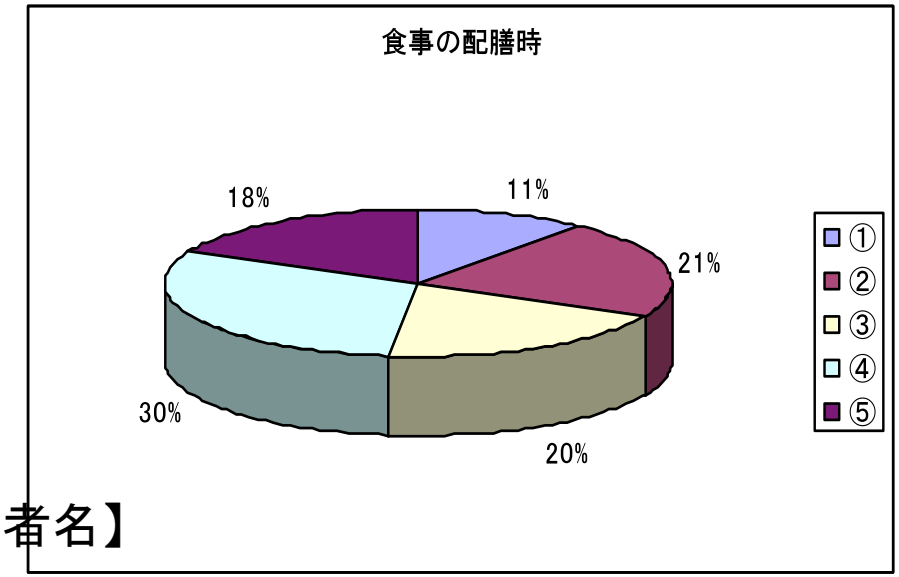
内田孝　提供

【©栗原中央病院　内田孝】

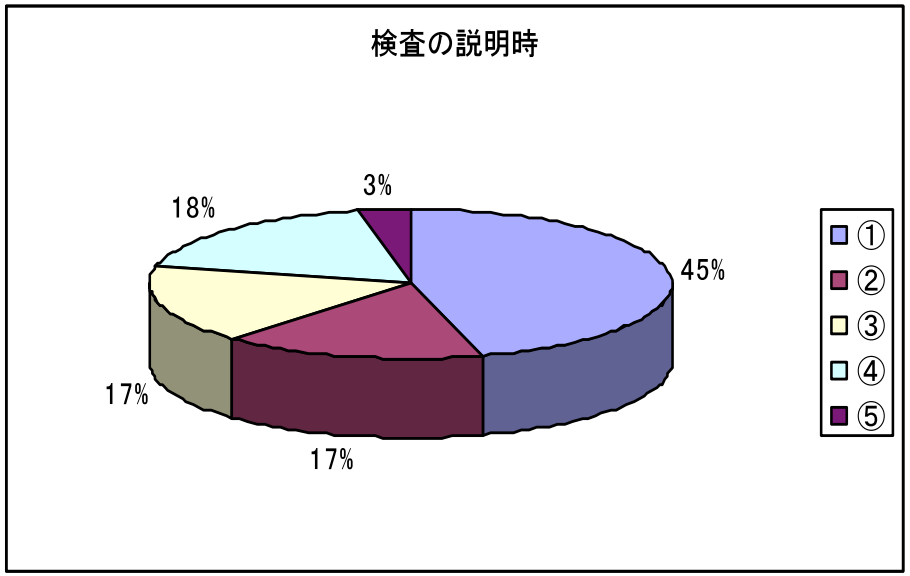
医療安全アンケート「名前を名乗ってもらう」の結果

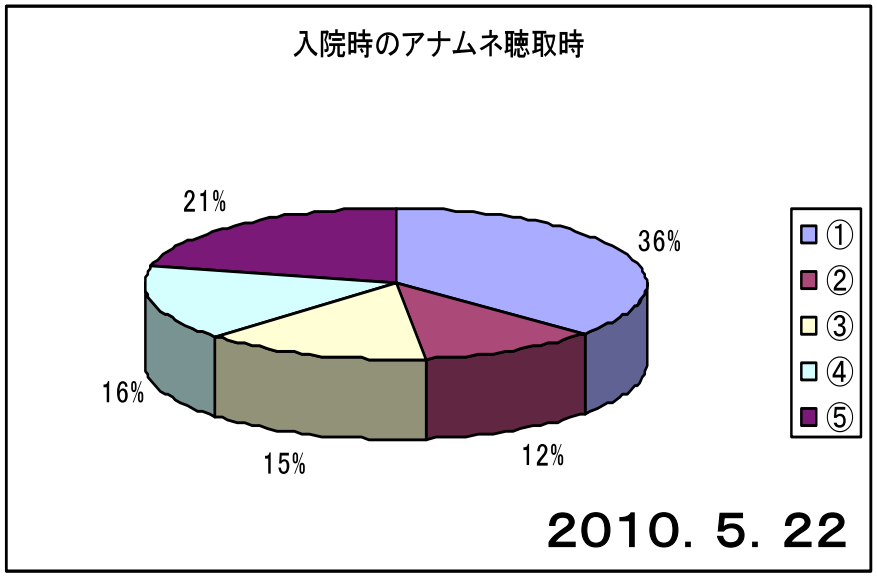
看護師





【©著作権者名】





2010. 5. 22

内田孝　提供

【名乗ってもらうことを忘れたり、名乗ってもらわないのは何故ですか】

1. 患者さんの顔は分かっているからあえて名乗ってもらわない（36名：29.7%）
2. めんどうだから（1名：0.8%）
3. 自分は間違わないと思っているから（0名）
4. 名乗ってもらわないことは、事故防止にならないから（0名）
5. 忙しいときは、名乗ってもらっていない（20名:16.5%）
6. その他
   - こちらから患者の名前を言ってしまう
   - つい忘れてしまう。忘れてしまう
   - 食札、ベッドネームで確認している
   - 検査時、アナムネ聴取時名乗ってもらうことを知らなかった
   - 内服や食事は省いてしまう
   - ボトルの名前と注射箋を照合している

2010. 5. 22

内田孝　提供

調査結果

採血・点滴・注射での患者確認は、かなりできているが、内服薬投薬、食事配膳、アナムネや各種の説明時には不十分になる

対　　策

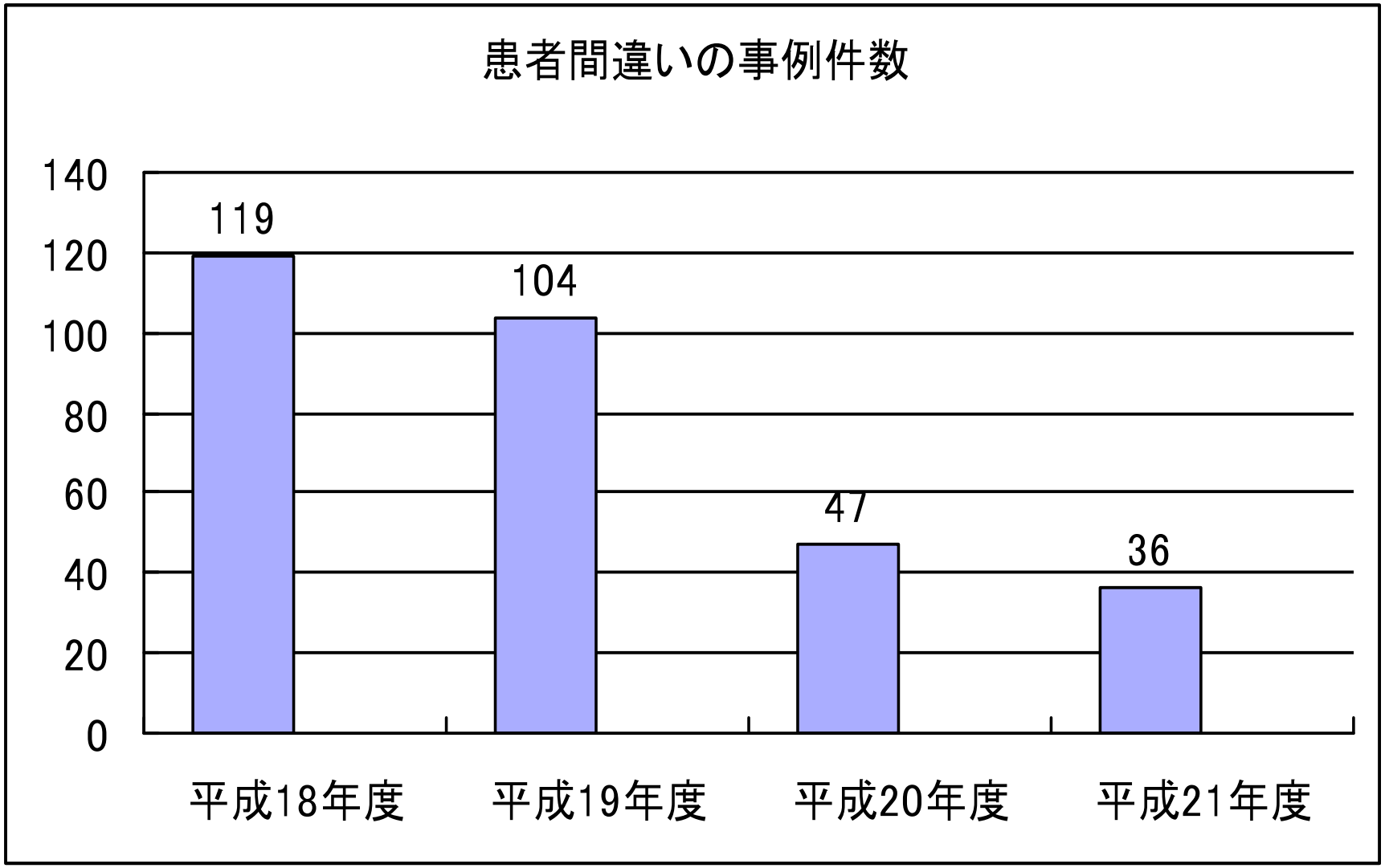
- 再度、患者確認の徹底をよびかける文書を配布
- 各部署のカンファランスで徹底をはかる

2010. 5. 22

内田孝　提供

【©栗原中央病院　内田孝】

患者誤認防止の取り組みの結果



2010. 5. 22

内田孝　提供

課題と今後の取り組み

- 患者に名前と生年月日を名乗ってもらうことがかなり徹底されてきたが、部署による差や業務による差がでてきているので、「患者誤認防止」を根気よく繰り返して徹底することが大切である
- 新採用者、途中採用者、復職者への指導も徹底して行う
- 聞き取り調査やアンケートを継続実施しフィードバックしていく

2010. 5. 22

内田孝　提供

まとめ

- “患者誤認”は命に直結する重大な医療事故につながる可能性が高いので、全職員が「患者誤認ゼロ」を目標に掲げて一貫して取り組む事が重要である
- 同姓同名の患者誤認防止対策として、フルネームと併せて生年月日も確認することが重要である
- そのためには日頃から、医療安全に対する職員の取り組みを徹底させ、安全文化を醸成することが重要である。毎週1回開催している「医療安全対策会議」が、その目的を達成するうえで、きわめて有効である
- 継続して取り組むことで、患者・市民の意識と行動に変化が生じる